



未来に引き継ごう 美しい水環境

9月10日は「下水道の日」

快適な暮らしや 身近な環境を守る

水は命の源です。私たち人間ばかりか、地球上のあらゆる生命にとって、なくてはならないものです。しかし、私たちの暮らしから出される生活排水は、そのまま自然に戻すと、川や海を汚してしまいます。そうならないようにきれいな水にするのが下水道です。

生活排水は どう処理されるの？

私たちが普段何気なく使っている水は、下水道事業によってどのように処理されているのでしょうか。

地球上の水は、数十億年前からほとんど量が変わっていません。それは水が循環を繰り返してきたからです。海の水は蒸発して雲となり、雨や雪を降らせ、川や湖を通して海へ帰ります。その中で私たちは、日常生活はもちろん、産業においても水を利用し、多くの恩恵を受けています。

使用した水を再びきれいにして川や海へ返すことは、美しい自然を守り、快適な生活を維持することにつながります。そのため大切な役割を果たしているのが「下水道」です。

広報たかやまでは、今月号と10月1日号の2回に分けて下水道事業を紹介します。

家庭で使われた水は、排水設備

(排水管や排水ますなど)を通過して下水道管へと流れ、下水処理場へと運ばれます。下水処理場に運ばれた水は、まず最初に沈砂池で大きなごみと土砂を取り除き、最初沈殿池へ送られます。

最初沈殿池では、沈砂池で取れなかつたごみをゆっくりと時間をかけて落とし、その後、微生物が入った反応タンクに送られ、微生物が汚れを食べることで、水をきれいにしています。

さらに最終沈殿池では、汚れを食べて重くなった微生物が集まってドロとして沈み、汚れを取り除かれた水は消毒設備へと流れ、そこで消毒された水が河川へと放流されます。

